

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	どんぐりひろば		
○保護者評価実施期間	令和6年 12月 9日	～	令和7年 1月 24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 31人	(回答者数)	14人
○従業者評価実施期間	令和6年 12月 9日	～	令和7年 1月 24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 7人	(回答者数)	7人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 1月 31日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員の配置数。	加配職員の配置をしている。 プログラムに合わせて職員を多く配置している。	プログラムの内容や利用児の様子に合わせた加配職員含め、多くの職員を配置して対応していく。
2	個別支援計画を職員間で共有し、計画に沿った支援を行っている。	職員間で個別支援計画を回覧し、説明や質問など行い周知をしている。ニーズや課題など具体的に伝え、必要な支援を職員間で共有や方向性を統一している。	必要な情報を共有をして振り返りを行う中で、計画に沿った支援の発展や見直しに繋げていく。
3	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	普段からコミュニケーションを図り、対話をする中で職員の意見を把握している。業務や支援改善に向けて、意見を整理して必要に応じて対応をしている。	定期的に意見を把握する為にミーティングや個別に意見や相談をする機会を設ける。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動空間や部屋のスペースが狭い。	必要なスペースは確保しているが、活動スペースとしては狭い。	机の配置等を考えられる限りスペースを広くしている。活動中は机、椅子を片付けスペースを工夫している。 危険が無いよう必要最低限の備品や設備の設置を行い、空間の有効活用する。
2	家族に対して家族支援プログラムや家族等の参加できる研修の機会などの発信が少ない。	研修会や家族参加のプログラムなどの発信が掲示やメールでの発信になっていた。 家族支援プログラムの参加率が低い。	保護者に対して直接的に声かけや参加を勧める案内の発信を増やし周知する。 外部開催が多い為、自事業所も開催を検討していく。 家族参加が行いやすい取り組みやすい内容のプログラムの提案。家族間で交流する場を設ける。
3	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会が少ない。	地域の子どものちとの交流や活動を一緒にする機会が少なく、開催できていない。	放課後児童クラブや児童館など連絡や連携を図り、子どもたちへ交流をする機会を増やしていく。 特別プログラムとして地域参加できる活動を検討する。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		どんぐりひろば				公表日		令和7年 2月 3日			
		利用児童数				34人		回収数		14	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応			
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	57%	21%	21%	0%	活動しやすいスペースが確保されている と思う。	継続してスペースを有効活用していく。			
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	100%	0%	0%	0%	適切な人数だと感じている。	継続していく。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	79%	0%	0%	21%	分かりやすく利用しやすい環境になって いると思う。	引き続き特性に応じて対応を行って いく。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	93%	7%	0%	0%	清潔感があり子どもたちの活動しやすい 空間だと感じる。	引き続き丁寧に清掃を行い、環境を整え ていく。			
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	93%	7%	0%	0%	特性を理解した上で適切な支援が受けら れている。	引き続き適切な支援を行っていく。			
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	合っていると思う。	継続していく。			
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	しっかり理解、分析された上で計画が作 成されていると思う。	継続していく。			
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	93%	7%	0%	0%	子どもに必要な支援が設定された上で具 体的な支援内容が設定されている。	今後も維持し、改善点があれば見直し、 対応していく。			
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	計画に沿った支援が行われている。	継続していく。			
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	93%	0%	7%	0%	多種多様なプログラムでとても工夫され ている。	継続していく。			
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	29%	21%	14%	36%	把握できておらずわからない。	交流する機会を設けることが難しいが検 討していく。			
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	93%	0%	0%	7%	それぞれ丁寧に説明があった。	継続していく。			
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	86%	7%	7%	0%	支援については計画に基づいて説明された。	継続して説明を丁寧にやっていく。			
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	50%	7%	14%	29%	家族が参加できる機会がある。	案内の周知や参加を促す声かけを行う。			
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	93%	7%	0%	0%	日々の状況、情報を共有できていると感 じる。	今後も維持し、改善点があれば見直し、 対応していく。			
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	64%	14%	7%	14%	適切なタイミングで支援を受けている。	対面が難しい等は、連絡帳や電話等の 対応を行い、改善を図っていく。			
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	93%	7%	0%	0%	共感的な支援を受けている。	今後も維持し、改善点があれば見直し、 対応していく。			
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	21%	14%	29%	36%		保護者参加のプログラムや保護者同士の 交流会等の開催を検討する。			
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	71%	14%	0%	14%	環境はしっかり整備されていると思う。	今後も維持し、改善点があれば見直し、 対応していく。			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	93%	7%	0%	0%	配慮されている。	継続していく。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	71%	14%	0%	14%	定期的に情報を発信されている。	継続していく。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	留意していると感じる。	継続していく。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	71%	14%	0%	14%	周知説明をされている。	見直し、改善があれば検討していく。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	86%	7%	0%	7%	定期的に訓練をされている。	見直し、改善があれば検討していく。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	79%	7%	0%	14%	安全確保が行われた上で支援がなされていると感じる。	見直し、改善があれば検討していく。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	93%	0%	0%	7%	小さなことでもしっかり説明されている。	見直し、改善があれば検討していく。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	93%	7%	0%	0%	落ち着く場所で信頼している。	継続し、安心して通所できるよう努めていく。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	93%	7%	0%	0%	いつもプログラムを確認しながらワクワクしつつ楽しく通っている。大変楽しみにしている。	継続し、楽しく活動できる支援ができるよう努めていく。
	29	事業所の支援に満足していますか。	93%	7%	0%	0%	満足して感謝している。	今後も継続し、見直し改善点があれば対応をしていく。より良い支援を行っていくよう努めていく。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	どんぐりひろば				公表日	令和7年 2月 3日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	29%	71%	机の配置等を考えられる限りスペースを広くしている。活動中は机、椅子を片付けスペースを工夫している。別の部屋を借りている。	設定基準を満たしたスペースはあるがゆとりある部屋が必要。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	パート職員など状況に合わせて配置している。	今後も維持していく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	43%	57%	養生テープ等で境界線を作っている。	トイレの数が少ない。 クールダウンする空間がない。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	57%	43%	利用後の掃除に加え、活動の切り替え等の際に床掃除などを行っている。	自由時間に一人ひとりの遊ぶスペースが少ない。 天井が低い。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	0%	100%	落ち着く空間はないが、廊下をカーテンで区切りをつけて工夫している。	クールダウンする部屋がない。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	普段から活動のねらいや振り返りなどを密にしている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	86%	14%	保護者の意向や子どもの様子を聞いている。	保護者からの意向や意見を共有し、必要に応じて改善を行っていく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	日々、職員間で意見交換をして支援や活動に反映している。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	100%	0%		H26年度に第三者評価を受審しているが、今後受審を検討する。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	86%	14%	研修案内を回覧し、各自が申し込めるよう取り組んでいる。	全くではないが不十分。
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	HP記載。 作成段階から職員間で共有。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%		今後も維持し、改善点があれば見直し、対応していく。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%		継続していく。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	職員共有用の連絡帳を用意した。	今後も維持し、改善点があれば見直し、対応していく。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%		今後も維持し、改善点があれば見直し、対応していく。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%		今後も維持し、改善点があれば見直し、対応していく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	職員間で相談を行いながら立案できている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%		今後も維持し、改善点があれば見直し、対応していく。

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	クラブ活動の内容も計画的に個別に対応をしたプログラムを考え、集団で楽しめるよう工夫をしている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	引継ぎノートなどを活用し、短い時間でもミーティングをしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	振り返りを行い、引継ぎノートを用いて他職員にも周知している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	細かな変化や相談などの記録を取り、振り返りなどに活用している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	職員間で密に子どもの成長、変化について話し合っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	100%	0%		今後も維持し、改善点があれば見直し、対応していく。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%		今後も維持し、改善点があれば見直し、対応していく。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%		今後も維持し、改善点があれば見直し、対応していく。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	86%	14%	保護者を通して医療の服薬の調整や様子を聞き健康記録をつけ支援をしている。 教育関係機関は必要に応じて担当者会議等を行っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%		今後も維持し、改善点があれば見直し、対応していく。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%	0%	朝のミーティング等を通し情報共有に努めている。 児童発達支援事業所等と密に連携が図れている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	57%	43%		密に連携を図りながら、情報提供を行っている。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	43%	57%		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	14%	86%		地域交流の幅が狭い為、児童館などの活用を行っている。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	29%	71%		自立支援協議会の周知を行い、参加を促していく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	86%	14%	必要に応じてペアレントトレーニングという取り組みがあると情報提供をしている。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%		今後も維持し、改善点があれば見直し、対応していく。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	保護者と密にやり取りを行い、意向を確認する機会は日常的に設けている。 アセスメントを行っている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%		今後も維持し、改善点があれば見直し、対応していく。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%		今後も維持し、改善点があれば見直し、対応していく。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	100%	0%	クラブ活動発表会を開催している。	保護者同士の交流会等を検討していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	報連相を適切に行い対応をしている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	機関紙の配布やHPに掲載している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%		今後も維持し、改善点があれば見直し、対応していく。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%		今後も維持し、改善点があれば見直し、対応していく。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	43%	57%	定期的に近所の公園で活動を行い、地域住民に理解を得ている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%		今後も維持し、改善点があれば見直し、対応していく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%		今後も維持し、改善点があれば見直し、対応していく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	保護者からの連絡やメールを職員間で周知している。	今後も維持し、改善点があれば見直し、対応していく。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	保護者を通して対応をしている。	今後も維持し、改善点があれば見直し、対応していく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%		今後も維持し、改善点があれば見直し、対応していく。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%		今後も維持し、改善点があれば見直し、対応していく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	作成、周知を徹底し、再発防止に努めている。	今後も維持し、改善点があれば見直し、対応していく。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	研修報告を周知している。	今後も維持し、改善点があれば見直し、対応していく。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	身体拘束適正化委員会を定期的に開催している。利用者に十分に説明を行っている。	今後も維持し、改善点があれば見直し、対応していく。	